

(別紙5)

整理番号 2023P-124
補助事業名 2023年度 子どもとその親が幸せに暮らせる社会を創る 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

年間約18万件の子どもの声を聴きとっているチャイルドラインのデータから子どもの実態を分析し、また実際の子どもたちの声から見える問題を取り上げ、解決のためにおとなが何をすべきかという提言を行うことを目的とした報告書を作成し、社会発信のために使用する。また、報告書を使用して子ども施策の提言、研修や学習会を行い、受講した人たちが子どもの支援者として行動を起こすことを目指す。

(2) 実施内容

子どもが幸せに暮らせる社会を実現するための活動

■2023チャイルドライン年次報告

2022年度の電話・オンラインチャットおよびHP上に設置されて「つぶやく」に寄せられた子どもの声のデータや活動から見える子どもたちの状況と社会課題、チャイルドライン活動の現状や課題などを広く社会に伝えるために資料として制作した。
(7月20日に発行)

■啓発・提言活動（勉強会等）

チャイルドライン実施団体や支援者、行政関係者やメディア、児童相談所などの子ども関係機関に配布。

ウェブサイトにも掲載し、誰でも閲覧・ダウンロードできるようになっている。

(URL) <https://childline.or.jp/supporter/report>

2024年2月に国会議員、関係省庁向け勉強会を予定。

2 予想される事業実施効果

電話とチャットを通じで年間約18万件の子どもの声を受けとめ、データ化し報告書を作成した。この報告書には「子どもの声を聴く」「小中高生が生きていこうと思える社会であるために」という提言を載せ、さらに、データから「子どもがひとりも自殺に追い込まれない環境は何が必要なのか」と考察も載せた。

「子どもたちの問題・思いに対し、おとなは何をすべきか」と国や自治体の施策づくりへの提言とするために、チャイルドライン支援議員連盟と協働で関係省庁の担当者や国会議員に報告書の配布を行った。ウェブサイト内にも年次報告書を掲載し、ダウンロードできることによって、より広く提供したことは子どもの周囲にいるおと

(別紙5)

なへの意識改革に繋がり、少しずつでも子どもとその親が幸せに暮らせる社会を目指すことができると考えている。

3 補助事業に係わる成果物

- (1) 補助事業により作成したもの
2023チャイルドライン年次報告



(URL) <https://childline.or.jp/supporter/report>

- (2) (1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 認定特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター
(ニンテイトクテイヒエイリカツドウホウジン
チャイルドラインシエンセンター)

住 所： 〒162-0808
東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル5階

代 表 者： 代表理事 竹村 浩 (ダイヒョウリジ タケムラ ヒロシ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局員 寺地 理奈 (ジムキョクイン テラチ リナ)

電 話 番 号： 03-5946-8500

F A X： 03-5946-8501

E - m a i l： info@childline.or.jp

U R L： <https://childline.or.jp/>